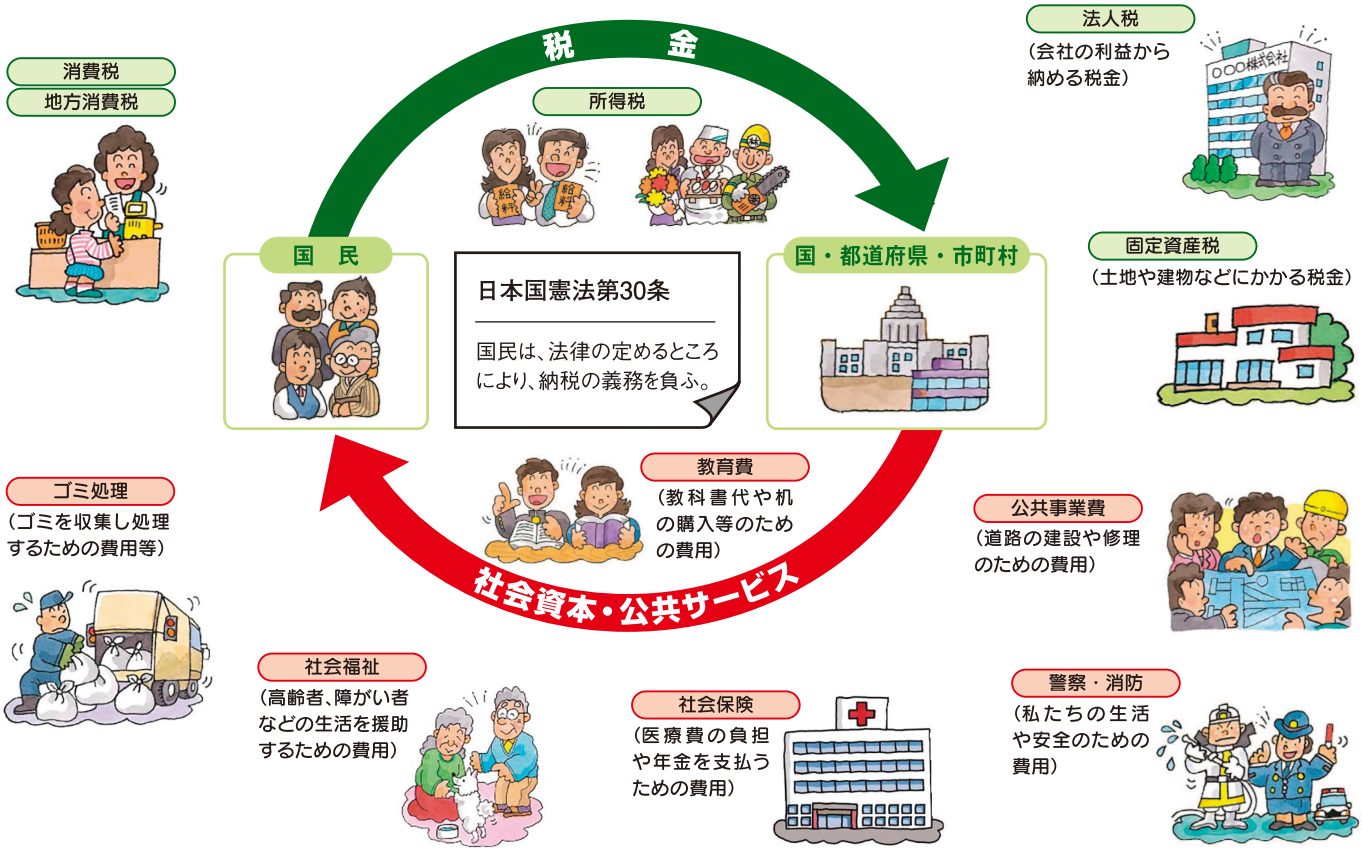
1 税金は、なぜ必要？

● 東京書籍　P162～163
● 教育出版　P156～157
● 帝国書院　P157～158

国や地方公共団体(都道府県、市町村)は、私たちが健康で豊かな暮らしができるように、民間企業では供給されにくい施設(社会資本)や公共サービスの提供など、さまざまな活動を行っています。その活動のための費用をまかなっているのが、私たちの「税金」です。税金は私たちが生活していくための、いわば「会費」といえます。



警察官の消えた町

税金が足りなくなったために、公共サービスが大幅に削減された例が実際にあります。

アメリカ合衆国のある州で、「税金は安いほうがいい」という意見が多数となり、税金を安くする法律ができました。

その結果、公共サービスを提供するためのお金が足りなくなり、公務員の給料を払うことができず、大量の警察官を解雇せざるをえなくなりました。他にも、道路がガタガタになる、教育費が減らされる、公園が有料になるなどさまざまな問題が起こりました。

その後、「警察官がいない町は困る」として住民投票が行われ、税金を安くする法律は廃止となりました。

みなさんの通う学校、利用する公園や図書館、頼りになる警察官や消防士。もしも税金がなくなってしまったら…これらは当たり前のものではなくなるのです。

～税金はなぜ必要か、考えてみよう～